

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告 (その6) です。

## ◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

## ◇ 企業紹介

【株式会社 HIORYES (ヒオリス)】

写真撮影・動画撮影によるプロモーション支援を行う総合プロデュース会社です。岐阜県美濃市を拠点に企業広告を中心とした宣材写真の制作や、プロモーション映像の制作をしております。

【HP】 <http://hiories.jp/>



SDGs	取組中	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	今後の課題	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	6 安全な水とトイレを世界中に
		11 住み続けられるまちづくりを	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナリシップで目標を達成しよう		13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう

## ◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・私は将来デザイン系の職業に就きたいと思っているので、株式会社ヒオリスさんの今の仕事に就くまでの経歴の話で専門的な学校に行っても大丈夫な事や、独学でも大丈夫な場合もあるということが分かり、安心しました。もう一つ、すごく心に残っているのがあります。それは、たしかデザイン系の仕事に就きたくても自分は上手くかけないけど、みたいな感想を書いている人に対して、自分が自分で出来ないって言っちゃダメだよと言った事です。

・ヒオリスの社長さんの技術を覚えた経歴や、クリエイターとしての心得を聞くことができよかったです。私は将来何か美術に関係のある職に就きたいと考えていたのでとても参考になりました。それから、技術を現場で学べる事を知らなかったのがこれから積極的に探していきたいと思いました。そしてやはり岐阜県での活動は珍しいとおっしゃっていたので、これから先大変かもと自分の将来ことが少し不安になったけど、チャレンジすることは大切だと思うので頑張らねばと思いました。

・会社の名前の由来は「HI(はい) or YES」で、どんな問題にも積極的に挑戦するという意味がある。コロナによる影響としては、撮影が中断されたりすることもあるが、ネットでの映像の需要が増すことでのメリットもあると知った。物作りにおいては、知識だけでは足りず、経験や自分で良し悪しをよく考える力の方が重要ということを知った。また、地方で活動するには、一つの

分野ができて、全体で一定の成果をあげられないと難しいということが分かった。

・一つの映像を作るには、たくさんの方が関わっていることがわかりました。映像を作るうえで、ターゲットとコンセプトを重要視していて、その中でもコンセプトがしっかりしていることで人を惹きつける映像ができることがわかりました。